

お知らせ FROM 雑賀幼稚園

R6年12月



11/15
(金)

さいかっこまつり

祭

保護者の皆さんの企画・運営。パズル作り、おかし釣りなどを行いました。未就園児の子どもたちも一緒に楽しみました。和気あいあい、楽しいひと時でした。



パズル作り



おかし釣り



11/11
(月)

さんまの日



秋の風物詩。今年もさんまを買いに行き、炭火で焼いて食べました。



一生懸命吹きました。



炭火で焼いたさんまは、格別の味でした。

魅力あふれる秋のたけのこ山



しゃめんを使って
転がしゲーム



木の実を集める



もういいかい
ま～だだよ



人生という教科

大橋政人さんの詩に「人生という教科」
があります。



だれも問題を出してくれない
だれも答えを見てくれない
君はもう、そんな教科を
学び始めただろうか
自分で問題をつくり
自分で問題を解いていく
それが他の教科と
人生という教科の一番の違いだ
四つの例文の中に
一つも答えがなかったり
四つの例文が
ぜんぶ正解だったりすることもある

学校の教科も、早くから「自分で問いをつくり自分で考える」人生という教科であってほしいと願います。社会とつながる学校であることを願います。



Coffee Break



鉄道草創期より長きにわたり紙の切符が使われていました。改札口に駅員が立ち、改札鋏で切符に切り込みを入れます。この切り口を「鋏こん」と呼ぶことを最近知りました。かつて旅をした時、厚紙の硬券に何ともいえない旅情を感じたものでした。捨てるのが惜しくて大切に持っていたこともあります。硬券に対して軟券も今では懐かしいものになりました。



過日、大震災から復旧した三陸鉄道で、岩手県宮古市から久慈市に向かいました。途中下車して龍泉洞に行きたいと思い、宮古駅で尋ねました。「最寄りは無入駅なので途中下車できません。切符を2枚発行しましょう」。薄紙の切符を発行。それぞれに行先が手書きで記入されていました。久しぶりに見る薄紙の切符。これも旅の楽しみといたく感激しました。

自動改札化が進み、今はみどりの窓口に行かなくてもネットで申込み、ICカード一枚で新幹線も利用できます。改札鋏は一部を除き、姿を消したそうです。宮古駅でかわした駅員との心地よい会話も追想となりました。今は電子音「ピッ」との無言の会話。



皆様 よいお年をお迎えください。